

W e l c o m e t o O S A K A

ようこそ **OSAKA** へ

**パートⅡ**

**日本語支援アイデア集**

大阪府教育委員会

## はじめに

近年、国際化の進展や社会のグローバル化等により、帰国・渡日児童生徒が増加しており、府内の公立小・中学校における日本語指導を必要とする児童生徒数は、平成22年9月1日現在、府内43市町村の約8割にあたる35の市町村に1,932人在籍し、その内11市町村は5人以下の在籍となっています。また、サポートが必要な言語数は25言語にわたっています。

さらに、受入経験のない小・中学校へ編入するケースや、日本の中学校を経ずに直接高等学校に入学する等のケースも年々増加しております。

本冊子は、このような状況を踏まえ、日本語支援の経験がない学校がまずすべきこと、日本語支援を行うにあたって留意すべき点や日本語支援チェックリストなどを含む活動事例集としてまとめました。

各学校におかれましては、平成22年3月策定の「帰国・渡日児童生徒の受入マニュアル」とあわせて、本冊子を参考にいただき、帰国・渡日児童生徒の学校生活における支援の充実を図るとともに、他の児童生徒に対しましても、受け入れを機に異文化を理解し、違いを豊かさに、互いに認め合い、共に生きていこうとする気持ちを育てていただくようお願いします。

大阪府教育委員会市町村教育室 児童生徒支援課

## 目次

はじめに	1
本冊子の構成と使い方	2
第1章 日本語支援にあたって	3
👉日本語支援にあたって	3
👉受け入れにあたって	4
👉安心して学校生活を送るための配慮	4
第2章 日本語支援チェックリスト	5
👉チェックリスト① 日本語支援と生活サポート	5
👉チェックリスト② クラスの環境づくり	6
👉チェックリスト③ 子どものメンタルヘルス・ケア	7
👉言葉の一覧表	8
第3章 活動事例	9
👉小学校低学年	9
👉小学校中・高学年(非漢字圏)	11
👉小学校中・高学年(漢字圏)	13
👉中学校(漢字圏)	15
👉中学校(非漢字圏)	17
第4章 楽しい教室づくりのためのアイデア集	19
第5章 日本語教材ホームページ集	21

### 本冊子の構成と使い方



#### 「第1章 日本語支援にあたって」

- 👉子どもが言語を獲得する過程について、基礎的なことを示しています。
- 👉子どもを支援するにあたって、気をつけていただきたいことを示しています。



#### 「第2章 日本語支援チェックリスト」

- 👉入学・編入してすぐの子どもに、どのような支援をすればよいのかを、「日本語支援と生活サポート」「クラス的环境づくり」「子どものメンタルヘルス・ケア」の3つの観点に分けて示しています。
- 👉「日本語支援と生活サポート」は、「入学・編入してすぐ」「～2週間」「2週間～」の期間に分けて示しています。
- 👉「言葉の一覧表」として子どもに、まず身につけさせたい表現を示しています。



#### 「第3章 活動事例」

- 👉年齢や言語圏により、5つのパターンで活動事例を示しています。子どもの状況に合わせて参考にしてください。

「小学校低学年」      「小学校中・高学年(漢字圏)」      「小学校中・高学年(非漢字圏)」

「中学校(漢字圏)」      「中学校(非漢字圏)」



#### 「第4章 楽しい教室づくりのためのアイデア集」

- 👉帰国・渡日の子どもが楽しく学習するための支援例やヒントを示しています。



#### 「第5章 日本語教材ホームページ集」

- 👉日本語支援を行う上で参考となるWebページや教材がダウンロードできるWebページを紹介しています。

\*コラムとして「ワンポイント・アドバイス」等も掲載しています。

(注)本冊子では、日本語指導が必要な帰国・渡日児童生徒を「子ども」としています。



# 第1章 日本語支援にあたって

## 日本語支援にあたって

帰国・渡日の子どもたちが、日本の学校で充実した学校生活を送り、同級生らと共に成長し、学力を着実に身につけていくためには、個々の子どもの文化的・言語的背景を尊重しつつ、日本語を習得していくことが必要です。

本冊子では、入学・編入当初の約1か月間の日本語支援について、さまざまなアイデアや事例を紹介しています。これらを参考に、個々の子どもの言語背景や日本語能力などを勘案して、最も適切な支援を提供していくことが必要です。

### <入学・編入初期の日本語支援：入学・編入～1・2週間>

入学・編入初期の日本語支援は、帰国・渡日の子どもが学校の環境になじみ、学校生活の流れを知ることなど、学校生活に入っていく初期指導の一環として行います。

#### <名前や場所を覚える>

- 多くの先生にあいさつや自己紹介をしながら、先生の名前を覚えることや、特別教室や体育館など学校の中でよく使う場所に実際に行き、その名称を覚えたり、机、イス、黒板など教室や学校の設備、文房具、持ち物などを確認しながらその名称を覚えることにより、日本語になじんでいくことが必要です。時間割表を見ながら対応する教科書を確認し、教科の名称を覚えることなども有効です。

#### <日本語の段階的理解>

- 日本語の単語を教えるにあたっては、常にその言葉を書いて示すことが重要です。その際に使用する文字は、アルファベットなど当該の子どもが理解できる文字を使用します。その後、徐々にひらがな併記、ひらがな表記へと移行し、少しずつ漢字での表記も行うようにします。
- この時期の指導は、日本語表記の基本となるひらがなの学習を着実に進めるとともに、学校になじんでいくプロセスで徐々に日本語を覚えていくという方法が有効です。

#### <メンタル面の配慮>

- 帰国・渡日の子どもは、なじみのない国や学校という異文化環境で暮らすこととなるため、ストレスを感じることもしばしばあり、指導、支援にあたっては、状況に応じてメンタル面の配慮やケアを行う必要があります。

#### <受け入れ環境づくり>

- 子どもの指導、支援だけではなく、学級や学校などの受け入れ側の環境づくりも重要です。自分が快く受け入れられている、歓迎されていると感じられる環境は、子どもを勇気づけ、励ますこととなります。

### <2週間～1か月>

本冊子の「第2章 日本語支援チェックリスト」や「第3章 活動事例」を参考に、それぞれの子どもの合った日本語支援を行うことが必要です。

日本語支援にあたっては、本冊子で紹介しているさまざまな支援のアイデアを活用しながら、学校や教室、ほかの子どもたちとの関わりの中で生きた日本語を習得していくことが有効です。





## 受け入れにあたって

### <当面の目標>

- 渡日してすぐに学校に入学・編入してくる子どもは、日本の生活や学校生活に慣れることが当面の目標になりますので、受け入れ日数に応じて次の観点から支援等を行いましょう。
  - (1) 「日本語支援と生活サポート」⇒5・6ページ「チェックリスト①」
  - (2) 「クラスの環境づくり」⇒6ページ「チェックリスト②」
  - (3) 「子どものメンタルヘルス・ケア」⇒7ページ「チェックリスト③」

### <日本語支援>

- 日本語の初期指導は、生活に必要な最低限の言葉、生活言語<sup>※1</sup>を教えましょう。その際、可能な範囲で個別に指導することに努めましょう。
- 次の段階として、教科につながる日本語学習の支援（学習言語<sup>※2</sup>と学習方法）・教科学習の支援に進みましよう。

### <配慮事項等>

- 教科の有無や清掃活動の有無など母国による学校文化の違いを調べておきましょう。  
(国ごとに、例えば、宗教上食べられないもの、食べられない期間、着替え、服装、装飾品、身体接触の度合い、学校内でのおやつ、お茶を飲む習慣がない等、文化・宗教・習慣の違いがあります)
- 宿題については、子どもや保護者の日本語能力をふまえて出しましょう（本読みを家庭で聞いてもらうことが困難な場合、学校で聞く等）。
- テストについては必要に応じて、ひらがなでルビ打ち、時間延長、別テストなどの配慮をします。評価については、保護者に伝わりやすいよう文章表記や母語翻訳などの工夫をしましょう。
- 保護者への連絡は、電話等では十分伝わらないことがあるため、可能な範囲で家庭訪問等により、直接話をする機会を持ちましよう。

※1 日常生活の中で具体的な事を表すために使う言葉（⇒8ページ「言葉の一覧表」）

※2 学習活動や授業などで使われるもので、抽象的・概念的なことを表したり教科の中で使われたりする言葉

## 安心して学校生活を送るための配慮

### <日本語理解に向けての配慮>

- 「ゆっくり」「はっきり」「くりかえして」話すことを心がけましよう。学級の子もたちにも事前に指導しておきましよう。
- 言葉以外のコミュニケーション手段も用意ましよう（絵カード、写真、辞書、ボディーランゲージ、母語の簡単な単語・表現など）。
- 「うんうん」とうなずいて返事をしていても、理解できていないときがあります。問い直したり、説明をさせるなどして、理解しているかどうかを確認ましよう。

### <文化の違いへの配慮>

- 文化・生活習慣の違いについて理解しないまま、指導、支援を行うと、子どもの気持ちに余裕がなくなることがあります。また、異文化の中で一日の大半を生活するということは、大きなストレスを抱えます。このため、子どもの表情や態度に注意し、気持ちを受け止め、声かけをするなど、ストレスを軽減するようにましよう。
- 体調に気を配り、リラックスできる時間をつくる工夫をましよう（一人で静かに過ごせる時間をつくる。母語で会話できる友だちができる等）。

### <日本語支援での配慮>

- 日本語支援の体制と指導方針、時間割、担当者等を確認し、教職員間の連絡を密にましよう。「日本語支援ノート（⇒12ページ「ワンポイント・アドバイス」）」等を活用し、引継ぎを丁寧なましよう。
- 授業中だけでなく、掃除や給食の時間など様々な機会を捉えて、毎日の生活に応じた日本語を身につけられるよう心がけましよう。なお、家庭での日本語の使用を促すことは、本人が負担に感じる場合もあるため、状況に応じて慎重に対応ましよう。
- 中学生の場合は、できるだけ早い時期に、卒業後の進路や受検制度等について説明し、受検上の配慮事項についても確認しておきましよう。

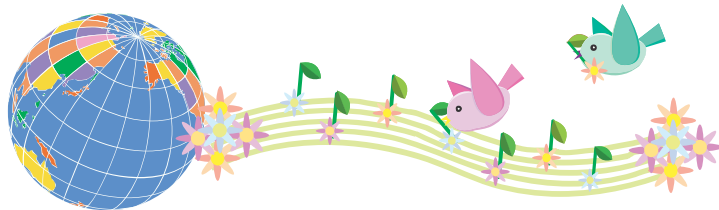


## 第2章 日本語支援チェックリスト

### チェックリスト活用方法

- 子どもに、どのような支援をすればよいかを  
① 日本語支援と生活サポート ② クラスの環境づくり ③ 子どものメンタルヘルス・ケアの  
3つの観点に分けて示しています。
- 「チェックリスト①」では、「入学・編入してすぐ」「～2週間」「2週間～」の期間に分けて、子ども  
の状況を確認する形で示しています。
- 「チェックリスト②」「チェックリスト③」では、教職員等が行う支援を確認する形で示してい  
ます。

\*この時系列とチェック項目の内容は、あくまでも参考ですので、個々の子どもの  
状況に応じた項目を選んでご活用ください。



### チェックリスト①

#### 日本語支援と生活サポート

#### できるようになってほしいこと

#### ✓ 入学・編入してすぐ（1～2日）

- 学校・学年・組・先生（担任や日本語指導担当）の名前を聞いてわかるか・言えるか。
- 「すぐに使う言葉」を聞いてわかるか・言えるか。⇒ 8ページ「言葉の一覧表①～⑤」
- 体調の悪いときの言い方・知らせ方がわかるか。
- トイレ（特に和式トイレ）の使い方がわかるか。
- 学校の一日の流れがわかるか。
- 自分の名前（日本語表記）を、読めるか・書けるか。
- 翌日の予定と持ち物や下校時間などを、保護者に伝えることができるか。
- 学校周辺の危険箇所がわかるか（教職員と一緒に歩いて教える等の工夫が必要）。

## ✓ ~2週間（2週間以内）

- ひらがな（文字）を覚え始めたか。
- 数字の発音（言い方）と、 $+$  $-$  $\times$  $\div$ など算数ですぐに必要な記号がわかるか。
- 宿題のやり方がわかるか（計算問題など友だちと同じ宿題、ひらがな練習など個別の宿題のやり方等）。
- 「日常的に使う言葉」を聞いてわかるか・言えるか。⇒8ページ「言葉の一覧表⑥～⑨」
- 教師の指示の言葉や、よく使う言葉がわかるか。⇒8ページ「指示する・たずねる言葉（教職員が使う言葉）」
- 教科と時間割、教科に応じた持ち物の準備がわかるか。
- 席の近く、同じ班、一緒に登下校するなど、行動を共にすることが多い子どもの名前がわかるか。
- 直接関わる教職員の名前がわかるか。
- よく利用する教室や保健室、体育館等の施設の名前と場所がわかるか。
- 当番表の見方、給食や掃除についてわかるか。
- 簡単な自己紹介ができるか。
- 自分の住所や電話番号を言えるか・書けるか。
- 当面の学校行事の言葉と内容がわかるか（遠足、短縮授業、参観日、懇談会、身体測定、内科検診等）。

## ✓ 2週間～（2週間以降）

- カタカナや漢字を覚え始めたか。
- 体の部位の名称がわかるか。
- クラブ（部活動）や委員会の活動場所や持ち物がわかるか。

## チェックリスト② クラス的环境づくり

## 子ども同士の学びあいができる環境を作る

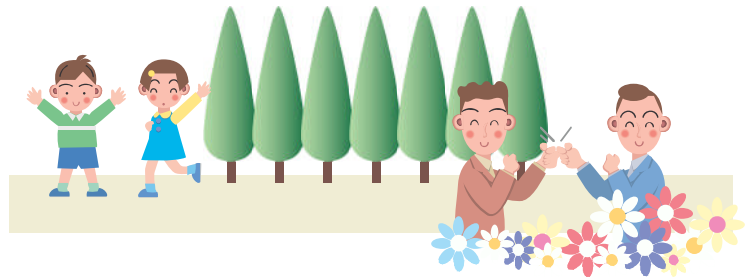
- 母語での挨拶などを取り入れているか。
- 子どもの母国や日本との関係がわかる物（写真や地図等）を掲示しているか。
- 教室内の物、板書や掲示物に、日本語（ひらがなで大きめのルビ）と母語の双方を表記しているか。
- クラス全員の名前がわかるようにしているか（机やイスにひらがなやアルファベットで表示する、日直当番票にひらがなでルビを打つ、座席表、整列表、全員の写真に名前をつけたものを掲示する等）。
- 教室の席は、担任のすぐ前か近くに設定しているか。
- 絵カード、絵辞典、辞書や電子辞書、パソコン等を、いつでも使えるようにしているか。
- 教室移動の時に取り残されることがないように、周りの子どもや班の子どもが声かけできるようにしているか。
- 休み時間に、遊びの輪の中に入れるような機会をつくっているか。

## チェックリスト③

### 子どものメンタルヘルス・ケア

## ストレスと不安を和らげる

- クラスの子どもたちとの関わりを促すきっかけをつくる等、孤立しない配慮をしているか。
- 子どもの思いを伸び伸びと表現できる機会をつくったり、ほめる機会を増やすなど、良さを引き出すようにしているか。
- 例えば、中学生に小学校1年の教科書の音読をさせない等、自尊心を大切にしているか。
- 遠足等の学校行事など、普段と違う動きをする時は、事前に丁寧に説明しているか。
- 避難訓練や緊急時の一斉下校などでは、丁寧に説明をするとともに、いっしょに行動する子どもを決めているか。
- 子どもの学校での様子、学校行事の説明、家庭での様子等について、家庭と密接に連絡をしているか。



## ワンポイント・アドバイス



ひらがな（文字）学習は、入学・編入初期の段階から始め、2週間目以降には、カタカナと漢字の学習を始めましょう。カタカナは全部覚えきれなくても、漢字学習に進みましょう。（参考：「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート」

<http://www.pref.osaka.jp/jidoseitoshien/toniti/index.html>



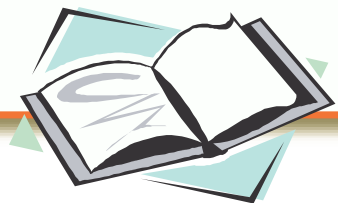
自信を持つことは、自分で学ぶ力を培うことになるため、スモールステップの積み重ねで日本語支援を行いましょ。また、個人用のファイルをつくり、学習プリント等をとじていくことで、本人が成果を実感でき、モチベーションの向上にもつながります。



母語を媒介として日本語学習の支援を行うことが有効な場合がありますので、母語により解説されている教材、文法書、母語と日本語を対訳している辞書などを活用しましょう。



保護者向け文書にはひらがなでルビを打ちましょう。必要に応じて母語に翻訳したものを用意しましょう。（参考：多言語学校プロジェクト<http://www.tagengo-gakko.jp/>）





## 「言葉の一覧表」



※あくまでも参考例ですので、子どもの状況に応じた言葉を使ってください。

すぐに使う言葉（渡日1～2日）	参考語彙と表現 —— まずは、これだけ ——
① よく使用する場所の名前と位置	教室、トイレ、ロッカー、保健室、下足箱、職員室 など
② 緊急時の伝え方	トイレ、ここ痛い、しんどい、帰りたい、電話したい など
③ 最低限の気持ちを伝える言葉	はい、いいえ、ありがとう、ごめんなさい、いや、まだ など
④ たずねる言葉	ある、ない、いい、だめ、待って など
⑤ 簡単な挨拶の言葉	おはようございます、さようなら など

日常的に使う言葉（渡日～2週間）	
⑥ 身近なものの名前と、簡単な動詞	本、ノート、えんぴつ、黒板、見る、読む、書く など
⑦ 状況を伝える言葉	大丈夫、できました、わかりました、わかりません など
⑧ 気持ちを伝える表現	行きたい、〇〇したい、好き、嫌い、いっしょに遊ぼう 教えてください、やめてください、〇〇してください など
⑨ 時や場所を表す言葉	昨日、今日、明日、今、さっき、後で、いつ、どこ など

### 指示する・たずねる言葉（教職員が使う言葉）

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 立って（ください）          | <input type="checkbox"/> 気をつけて（ください）・注意して（ください） |
| <input type="checkbox"/> 座って（ください）          | <input type="checkbox"/> いけません／だめです             |
| <input type="checkbox"/> 見て（ください）／見せて（ください） | <input type="checkbox"/> わかりましたか                |
| <input type="checkbox"/> 書いて（ください）          | <input type="checkbox"/> 〇〇しましたか                |
| <input type="checkbox"/> 読んで（ください）          | <input type="checkbox"/> 行きなさい                  |
| <input type="checkbox"/> 覚えて（ください）          | <input type="checkbox"/> 来なさい                   |
| <input type="checkbox"/> やめて（ください）          | <input type="checkbox"/> 帰りなさい                  |
| <input type="checkbox"/> 静かにして（ください）        | <input type="checkbox"/> 〇〇しなさい                 |
| <input type="checkbox"/> 貸して（ください）          | <input type="checkbox"/> 〇〇していなさい               |
| <input type="checkbox"/> 取って（ください）          | <input type="checkbox"/> 起立／礼／着席                |
| <input type="checkbox"/> 言って（ください）          | <input type="checkbox"/> いただきます／ごちそうさまでした       |
| <input type="checkbox"/> もう一度 言って（ください）     | <input type="checkbox"/> お名前は？                  |
| <input type="checkbox"/> ゆっくり 言って（ください）     | <input type="checkbox"/> どうしたの？ だいじょうぶ？         |
| <input type="checkbox"/> いっしょに 言って（ください）    | <input type="checkbox"/> これ、なに？ これは、何ですか？       |
| <input type="checkbox"/> 先生のあとについて言って（ください） | <input type="checkbox"/> ありますか？                 |



## 第3章 活動事例

### 小学校 [低学年]

#### <対象児童>

小学校 1年生		第一言語（韓国語）
背景	10月末に渡日し、1年生に編入。 両親とも韓国人。家庭での言語は、韓国語7割、英語3割程度である。	
日本語能力	「こんにちは」「さようなら」のあいさつは覚えてきたが、それ以外は話せない。 日本語の読み書きは全くできない。	

#### <学習内容>

	学習活動	留意点	準備するもの
1日目 ～3日目	<input type="checkbox"/> あいさつの言葉を覚える。 <input type="checkbox"/> 身近な学用品の名前を知る。 <input type="checkbox"/> 日本の学校生活の1日の流れを知る。 <input type="checkbox"/> 自分の名前をひらがなで書く。  <input type="checkbox"/> 体調や気持ちを言い表す言葉を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ あいさつの言葉や学用品などの名前を教えるとともに、写真などを見ながら日本の学校生活の1日の流れを知らせる。</li> <li>☀ ひらがなカードや積木を並べて、自分の名前のひらがなを覚えさせる。</li> <li>☀ 自分で並べられるようになったら、筆順に気をつけながら、ノートに書くようにする。</li> <li>☀ 「トイレ」「頭」「痛い」「いい・だめ」「わかる・わからない」「はい・いいえ」など体調や気持ちを表す言葉を絵を見せながら教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や絵</li> <li>・ひらがなカード</li> <li>・積み木(ひらがなの書いたもの)</li> <li>・ノート</li> <li>・ひらがな練習帳</li> <li>・体調を表す絵カード</li> <li>・体の部分の絵カードなど</li> </ul>
4日目 ～10日目	<input type="checkbox"/> 校内のよく使う場所の名前と場所を知る。 <input type="checkbox"/> 友だちとコミュニケーションをとる時の言葉を知る。 <input type="checkbox"/> 時間割表の見方と曜日の名前と教科の名前を知る。 <input type="checkbox"/> ひらがなの学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 保健室、体育館、運動場、職員室、給食室などの名前とどのようなことをする場所かなどを、写真を見たり、校内探検をしたりして知らせる。</li> <li>☀ 「ありがとう」「ごめんなさい」「いいよ」「忘れた」「貸して」など生活の中でよく使う言葉をテキストなどの挿絵を見ながら教える。</li> <li>☀ 時間割表を見ながら曜日の名前と教科名を知り、教科書を合わせて覚えられるようにする。</li> <li>☀ 絵カードや積み木などを見ながら、言葉を教える。</li> <li>☀ 覚えた言葉をノートに書く時、その下にその言葉の絵を書くよう指示する。</li> <li>☀ 五十音を覚えるまで、絵カードとりや絵カードとひらがなカードを合わせるゲームなどを取り入れながら繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の写真</li> <li>・子ども用の日本語テキスト</li> <li>・時間割表</li> <li>・教科書</li> <li>・絵カード</li> <li>・積み木</li> <li>・ノート</li> <li>・ひらがな練習帳</li> <li>・絵カード</li> <li>・ひらがなカード</li> </ul>



11日目 ～1か月	<input type="checkbox"/> ひらがなの学習をする。 <input type="checkbox"/> 1から10までの数字と+-の読み方を知る。 <input type="checkbox"/> 11より大きい数の読み方を知る。 <input type="checkbox"/> よく使う動詞を知る。  <input type="checkbox"/> 数える言葉を知る。  <input type="checkbox"/> 簡単な文を作る。  <input type="checkbox"/> 「います・あります」の区別を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 清音をほぼ覚えたら、濁音・半濁音・拗音などの学習に進むようにする。</li> <li>☀ 1から10までの数字と+-の読み方を覚え、クラスでの算数学習に参加できるようにする。</li> <li>☀ 「11～19」までの読み方を教え、「20」「30」・・・と数の読み方の決まりを考えながら覚えさせる。</li> <li>☀ 「書きます」「見ます」などジェスチャーや絵を見ながら学習を進める。</li> <li>☀ ジェスチャーゲームや絵カードと言葉カードを合わせるなどのゲームをするなど、楽しみながら覚えさせる。</li> <li>☀ 「ひとつ・ふたつ……」「～こ」「～人」「～まい」など数える言葉を表にして、いつでも見て覚えられるよう算数のノートなどに貼らせる。</li> <li>☀ 「字を書きます」「時計を見ます」など、絵を見たり、ジェスチャーを見たりして、生活の中でよく使う言葉で簡単な文を作る。</li> <li>☀ 「犬がいます」「本があります」などの言葉の使い方の区別がつくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ノート</li> <li>• 10までの数字カード</li> <li>• +-のカード</li> <li>• 数字カード</li> <li>• 絵カード</li> <li>• 絵カード</li> <li>• 子ども用の日本語テキスト</li> </ul>
--------------	---	---	--

## 子どもと子どもをつなぐ実践例(1)

### ① 紹介カード

#### 【ねらい】

- 互いを知り合うきっかけを作る。

#### 【活用例】

- 隣の人にカードを見せながら話す。
- 色々な相手と紹介し合う。

#### 【作成例】

##### 低学年用

なまえ
よんでほしいなまえ
クラス                      ねん                      くみ
はなすことば
たんじょうび
すきなたべもの
すきなどうぶつ

### ② 単語カード

- ☑ クラス全員に「もし、あなたが日本語が通じない国で暮らすことになった場合、その国で、最初に覚えたい言葉や表現は何ですか？」と問いかける。
- ☑ 子どもたちが答えた言葉や表現を、帰国・渡日の子どもの言語では何と言うかを尋ねたり、辞書で調べる。

#### 【作成例】

- ☑ トランプ大の大きさのカードに日本語と母語が裏表になるように書き、ラミネートする。

#### 【活用例】

- ☑ 教室内に置いて、いつでも誰でも使えるようにする。

※ 学校でよく使う言葉に応用できます。



## 小学校 [中・高学年 (非漢字圏)]

### <対象児童>

小学校 3年生	第一言語 (ベトナム語)
背景	4月に渡日し、3年生に編入。ベトナムで学校教育を受け、学年相応の学力は身につけている。両親ともベトナム人。父の日本語は挨拶程度。母との連絡は簡単な英語で行っている。家庭で使われている言語はベトナム語のみ。
日本語能力	全く理解できない。

### <学習内容>

	学習活動	留意点	準備するもの
1日目 ~3日目	<input type="checkbox"/> 挨拶の言葉と簡単な自己紹介の言葉を覚える。 「おはようございます。〇〇です。ベトナムからきました。よろしくおねがいします。」  <input type="checkbox"/> 名前をカタカナで覚える。  <input type="checkbox"/> 主に関わる先生と友だちの呼び方を知る。 <input type="checkbox"/> 身の回りの物の名前を覚える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ クラスのみんなの前で言えるように、何度か練習する。無理であれば、「おはよう」「ございます」「おはようございます」…というように、短く切って繰り返し練習させる。</li> <li>☀ ベトナムと日本の位置を確認する。</li> <li>☀ 保護者と相談し、名前をどのように表示し、どう読むか確かめておく。</li> <li>☀ カタカナ学習はひらがなの後にするので、名前に使うカタカナだけ教える。</li> <li>☀ 担任、関係職員、隣の席や一緒に下校する友だちなど。</li> <li>☀ 「机」「ノート」「えんぴつ」など、すぐに使う学用品から始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界地図等</li> <li>・カタカナで書いた名前の見本</li> <li>・教師や児童の写真</li> <li>・実物、絵カード</li> <li>・言葉絵辞典</li> </ul>
4日目 ~10日目	<input type="checkbox"/> 意思疎通に必要な言葉を覚える。  <input type="checkbox"/> ひらがなの学習をする。  <input type="checkbox"/> 教室で使う指示語を知る。  <input type="checkbox"/> 数字の発音と書き方、 $+$ $-$ $\times$ など、算数ですぐに使う言葉や記号を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 「トイレ」「痛い」「だめ・いい」「ある・ない」「わかる・わからない」「ありがとう」「はい」など、すぐに必要な言葉を覚える。</li> <li>☀ 覚えた言葉に出てくる文字や、覚えやすい文字から教える。</li> <li>☀ 清音だけでできた言葉の絵カードを用意しておく。</li> <li>☀ 筆順を唱えながら、教師が書くのを見る→なぞり書き→視写→聞いて書く、などの順で書く練習をさせる。</li> <li>☀ 1音ずつ正確に発音→単語として発音</li> <li>☀ 「見て」「聞いて」「読んで」「書いて」など、言葉と絵と身振りを対応させる。</li> <li>☀ くり上がりやくり下がりの計算、掛け算の九九など、低学年の既習事項が理解できているか確かめながら、式や数の読み方・書き方を教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども用の日本語テキスト</li> <li>・五十音表</li> <li>・ひらがな練習帳</li> <li>・ひらがな文字カード</li> <li>・ひらがな言葉カード</li> <li>・子ども用の日本語テキスト</li> <li>・数字カード</li> </ul>



<p>11日目 ～1か月</p>	<p>□ ひらがなの学習をする。</p> <p>□ 数、色、日付や曜日、教科名や校内の場所、時間割表や当番表の見方、身近な物の名前などを覚える。</p> <p>□ よく使う動詞や簡単な形容詞を知る。</p> <p>□ 簡単な文型練習を始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前日に家庭学習用として渡した課題の答え合わせをし、音読させる。</li> <li>● 覚えた文字を掲示したり五十音表に書き込んだりして、学習の成果が見えるようにする。</li> <li>● 教室の備品などに、「とけい」「こくばん」などのカードをはっていく。</li> <li>● 文字と絵のマッチング、フラッシュカード、カード取り、ひらがなビンゴなど、ゲーム的な学習も取り入れ、自然に声が出る場を作る。</li> <li>● 清音が覚えられたら、濁音、半濁音、促音、拗音、長音に進む。</li> <li>● 物の数え方や日付の言い方などは、この時点ではふれなくてもよい。</li> <li>● 教科名と同時に、教科書やノート、専科教員の名前なども教える。</li> <li>● 毎日、黒板に日付を書いたり朝の会で読んだりする役割を与える。</li> <li>● 動詞は「食べます」「起きます」などの形で教える。</li> <li>● 形容詞の「大きい・小さい」「長い・短い」などと「右・左」「上・下」などの名詞も、反対語としてセットで覚えさせる。</li> <li>● 「学校へ行きます」「水を飲みます」などの2語文で、助詞を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習用課題</li> <li>・掲示用ひらがな文字カード</li> <li>・掲示用言葉カード</li> <li>・カレンダー、色カード、色紙、曜日カード、月カード</li> <li>・「きのう」「きょう」「あした」などのカード</li> <li>・動詞絵カード</li> <li>・形容詞絵カード</li> <li>・反対語カード</li> <li>・子ども用の日本語テキスト</li> </ul>
----------------------	---	--	--

## 子どもと子どもをつなぐ実践例(2)

### ○友だちカード遊び

#### 【ねらい】

クラスの友だちと打ち解けられるよう、カードを活用して、友だちの顔と名前を覚える。

#### 【準備物】

・カード(トランプ大の色画用紙・厚紙)

#### 【作成例】

・カードに子どもの氏名(漢字)、ルビ、イラスト、好きなもの・こと、などを書く。

#### 【活用例】

- ・カードを見て、ともだちの名前を声に出して言ったり、並べたりして遊ぶ。
- ・一部を隠して、それを誰かを当てる。
- ・「好きなもの」の部分聞いて、それが誰かを当てる。
- ・同じカードを2枚作って、カルタ取り、神経衰弱などをして遊ぶ。



## ワンポイント・アドバイス

「日本語支援ノート」を作成し、子どもの情報を共有し、効果的な支援を行うため、教職員やサポーター間の連絡、引き継ぎ等に活用しましょう。

#### 【作成例】

	記入年月日	記入者氏名	
児童生徒名		担任	支援者
学習日時	年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分		
使用した教材			
学習内容			
宿題			
子どもの様子			
連絡事項			



## 小学校 [中・高学年 (漢字圏)]

### <対象児童>

小学校 5年生		第一言語 (中国語)
背景	中国で就学し、4年生を修了。学年相応の経験や知識があり、中国語の習得語彙も学年相応である。日中辞典を活用することができる。両親とも中国人。母親は日本語が少し話せる。家庭での言語は中国語である。	
日本語能力	ごく簡単な日常会話は理解できる(あいさつ、簡単な指示など)。日本語の読み書きは全くできない。	

### <学習内容>

	学習活動	留意点	準備するもの
1日目 ~3日目	<input type="checkbox"/> あいさつの言葉や身近な学用品の名前を覚える。 <input type="checkbox"/> 名前を漢字とひらがなで書く。 <input type="checkbox"/> 意思疎通に必要な言葉を覚える。 <input type="checkbox"/> よく使う場所の名前を覚える。(教室・便所・運動場など) <input type="checkbox"/> 教科名を覚える。 <input type="checkbox"/> 日本と中国の位置関係を地図で確認する。 <input type="checkbox"/> ひらがなの学習(読む・書く)をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 実物や絵カードを見ながら指導者と一緒に何度も発音させる。</li> <li>☀ 「いい・だめ」「ある・ない」「そう・ちがう」「いる・いない」「来て」「聞いて」「見て」など。</li> <li>☀ 学んだ日本語は、その都度中国語とともにノートにまとめ覚えさせる。</li> <li>☀ どんな学習をするのか簡単に説明する。</li> <li>☀ 一通り教えるだけでなく、教科学習の機会を捉えて内容や必要な用具などの言葉を教える。また、担当の先生に紹介して名前を覚えてもらうなどする。</li> <li>☀ クラス全体で確認するようにする。</li> <li>☀ 五十音の順ではなく、学んだ言葉から書く。ほぼ学習した段階で五十音順に何度も練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学用品絵カード</li> <li>• 子ども用の日本語テキスト</li> <li>• ノート</li> <li>• 教科書</li> <li>• 地球儀</li> <li>• アジアの地図</li> <li>• 五十音表(ローマ字表記有)</li> </ul>
4日目 ~10日目	<input type="checkbox"/> 言葉を覚える { 身近なものの名前 簡単な動詞 学習で使う指示語など } <input type="checkbox"/> 2語文に慣れる。 <input type="checkbox"/> ひらがなの学習(読む・書く)をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 実物や絵カードを見ながら何度も発音させる。</li> <li>☀ 「書きましょう」「読みましょう」「わかりますか」「わかりません」など。</li> <li>☀ 学んだ日本語は中国語と対応させてノートにまとめ覚えさせる。</li> <li>☀ なかなか覚えられない単語は単語カードにまとめて何度も練習させる。</li> <li>☀ 習った動詞を使って簡単な文章を言ったり書いたりさせる(「字を書きます」「手を洗います」「家へ帰ります」など生活に即した文)。</li> <li>☀ 五十音すべてを覚えさせる。書かせる(音を聞いて、ローマ字を見てなど)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵カード</li> <li>• 言葉絵辞典</li> <li>• 日中辞典</li> <li>• 単語カード</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 学校や学校生活について知る。</li> <li>□ 時間割表の見方、学校の準備の仕方を知る。</li> <li>□ 曜日、日付などを知る。</li> <li>□ 数の数え方を覚える。(10まで、100 まで、大きな数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の中の様々な場所の名称や学校生活(1日の流れ、1年の流れ)について知らせる。</li> <li>● できるだけ本人に体験させるようにする。</li> <li>● 算数の学習歴を調べ、未習事項を5年生の学習に入る前に教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の見取り図</li> <li>・時間割表</li> <li>・参考「にほんごをまなぼう」(文部省)</li> <li>・カレンダー</li> </ul>
<p>11日目 ～1か月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 次の①～④を毎日学習し、少しずつ難度を上げていく。</li> <li>① 言葉を覚える (名詞、動詞、形容詞) 漢字学習 カタカナ学習(読む・書く)</li> <li>② 会話: 日常のことを話す</li> <li>③ 音読</li> <li>④ 簡単な文型を学習する (聞く、話す、読む、書く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いつでも調べたり、絵で示したりできるようにしておく。</li> <li>● 身近な言葉や学習に出てきた言葉をどんどん覚えさせる。ひらがな表記・漢字表記を同時に書いて覚えるようにさせる。</li> <li>● 身近な言葉を覚える際にカタカナ表記のものを確認しながら文字を覚えさせる。(プリント、リコーダーなど)</li> <li>● 自分から話せない時は質問して答えさせる。 「誰と学校に来ましたか?」「1時間目は何の勉強をしましたか?」など。</li> <li>● 中国語の絵本を読み内容をつかんだ後、日本語の絵本を音読させる。 「三びきのこぶた」「うさぎとかめ」など。</li> <li>● 1年生の教科書文の音読練習をさせる。1文ずつ中国語訳で意味を確認させる。「おおきなかぶ」「じどうしゃくらべ」「ものの名前」「くじらぐも」など</li> <li>● 「わたしは ○○です」「これは○○ですか」など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子辞書</li> <li>・言葉絵辞典</li> <li>・ひらがなとカタカナを並べて表記した五十音表</li> <li>・中国語の絵本</li> <li>・参考「21世紀の日本語教育」(府外教1999年発行)</li> <li>・子ども用の日本語テキスト</li> </ul>

… 漢字圏の子どもの場合の留意事項 …

- 授業にスムーズに入れるように、事前に学習プリント等を活用し、漢字の読みや大まかな意味をつかませておく。
- 教科学習では、教科書の重要語句や板書にルビを打ち、可能であれば中国語訳を書く(辞書で調べさせる、指導者が書き入れる等)。
- 漢字を活用する方がひらがなよりも有効なことがあるため、状況に応じて漢字を併用する。



## 中学校 (漢字圏)

### <対象生徒>

中学校 1年生		第一言語 (中国語)
背景	9月に中国から渡日し、中学1年生に編入。両親とも中国人。父親が少し日本語の日常会話ができる。家庭での言語は中国語。	
日本語能力	日本語の学習経験はなく、日常会話は全くできない。	

### <学習内容>

	学習活動	留意点	準備するもの
1日目 ~3日目	<input type="checkbox"/> 日本語での自分の名前や先生などの呼び方を知る。  <input type="checkbox"/> 自己紹介の言葉を覚える。 「〇〇からきました。〇〇です。よろしく おねがいします」 <input type="checkbox"/> あいさつの言葉を覚える。  <input type="checkbox"/> 1日の学校生活の流れ(校時)や数字などを覚える。 <input type="checkbox"/> 学習する教科名を覚える。 <input type="checkbox"/> 施設名を覚える。 (教室、保健室、トイレ、特別教室、体育館、運動場等) <input type="checkbox"/> 教室で使う言葉を覚える。 (学習で使う指示語など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀️ 名前(中国人生徒の場合)は、ピンイン読みか、音読みか保護者に確認しておく。</li> <li>☀️ 担当者、担任、国「中国・日本」、学校名 — 〇〇中学校など</li> <li>☀️ クラスの前で言えるように練習する。母語のあいさつを入れてもよい。</li> <li>☀️ 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」など。</li> <li>☀️ 朝、学活、読書、休憩、昼食(弁当)、掃除・下校・放課後、数字(1~10)</li> <li>☀️ 学習内容も簡単に知らせる。</li> <li>☀️ 教科によっては教室の移動があるので、施設の呼び方と場所を、実際、連れていって教える。</li> <li>☀️ 「勉強します」「始めます」「終わります」「休憩します」「言ってください」「読んでください」「書いてください」「分かりますか」「分かりません」など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 写真</li> <li>• イラスト</li> <li>• 校時表</li> <li>• 時間割表</li> <li>• 数字カード</li> <li>• 参考「こんにちは」(府教育センター)</li> <li>• イラスト(母語対訳)</li> <li>• カード(母語対訳)</li> </ul>
4日目 ~10日目	<input type="checkbox"/> ひらがなの学習(読む、書く)をする。  <input type="checkbox"/> 数字の学習(読む)をする。  <input type="checkbox"/> 言葉を覚える(読む、書く)。  <input type="checkbox"/> 今すぐに必要な言葉(簡略な話し言葉)	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀️ ローマ字読みで日本語の音節&lt;清音・濁音&gt;を知る。ローマ字読みとひらがな練習を同時進行で学習してもよい。</li> <li>☀️ 濁音、促音、長音、拗音、拗長音へと進める。</li> <li>☀️ 数字(1~30)の読み方の決まりを考える。</li> <li>☀️ 音節から単語に。単語の意識化。</li> <li>☀️ 単語を通してひらがなを習得。</li> <li>☀️ 「は」「へ」「を」の使い方を教える。</li> <li>☀️ 「いい・だめ」「ある・ない」「いる・いない」「ぼく・わたし」「+・-・×・÷」など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 五十音表(ローマ字)</li> <li>• 数字カード</li> <li>• 日本語テキスト</li> <li>• 絵カード</li> </ul>





<p>11日目 ～1か月</p>	<p><input type="checkbox"/>生活語彙を知る。</p> <p><input type="checkbox"/>日付や曜日、時間を表す言葉を知る。</p> <p><input type="checkbox"/>簡単な文を理解する。</p> <p><input type="checkbox"/>カタカナを覚える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀ 身体を表す言葉や身の回りの物の名前など、また、動詞、形容詞、指示語などの語彙も知る。</li> <li>☀ 既習のひらがなを活用する。</li> <li>☀ 可能ならば母語対訳を付ける。</li> <li>☀ 写真、絵、イラストを対応させて習得させる。</li> <li>☀ 身体を表す言葉(頭、顔、耳、目、鼻、口、足、手、お腹、胸)、痛い等</li> <li>☀ 身の回りの物の名前(机、イス、えんぴつ等)</li> <li>☀ 「わたし」「あなた」「あのひと」「○○さん、○○くん」「これ」「それ」「あれ」「何」「ここ」「そこ」「あそこ」「どこ」など。</li> <li>☀ 最初はカレンダー等を使って読み方だけでよい。</li> <li>☀ ○時間目、今日、明日、昨日、休みなど</li> <li>☀ ひらがなの習得状況に応じて、句型学習に進む。名詞文から始める。「わたしは○○です」「あなたは○○さんですか?」「はい、～です」「いいえ、～では ありません」</li> <li>☀ 単文の習得と並行させて学習させる。</li> <li>☀ 人や国の名前で覚えさせてもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ひらがな五十音表</li> <li>• 写真</li> <li>• イラスト</li> <li>• カレンダー</li> <li>• 時計</li> <li>• 句型カード</li> <li>• 地球儀</li> <li>• 地図帳</li> </ul>
----------------------	---	---	--



## ワンポイント・アドバイス



### ホワイトボード(携帯用)の活用

子ども同士がいつでも、絵を書いたり、筆談するなどしてコミュニケーションが図られるよう携帯用のホワイトボードを活用しましょう。

日本語や教科の学習支援にも使えますので、できれば教室に常備しておきましょう。

#### 【使い方例】

ホワイトボードは、教科の学習、お絵かき遊びなど、広く応用できます。例えば、数学の文章題では、図などを用いることにより理解が図られますので、使い方を工夫してみてください。

その他、しりとり遊び、モノ当て遊び(ものを描いて名前を当てる)などにも使えます。





## 中学校（非漢字圏）

### <対象生徒>

中学校 1年生		第一言語（タガログ語）
背景	3月末フィリピンより渡日、4月入学。父親は日本人、母親はフィリピン人。家庭での言語はタガログ語と英語が混在。	
日本語能力	ごく簡単な日常会話もほとんどできない。 日本語の読み書きは、ひらがなを少し知っている程度で、全くできない。	

### <学習内容>

	学習活動	留意点	準備するもの
1日目 ～3日目	<input type="checkbox"/> 当面の予定を知る。 <input type="checkbox"/> 翌日の持ち物、登校時間を知る。 <input type="checkbox"/> 体調不良などの伝え方を知る。  <input type="checkbox"/> 自己紹介の練習をする。 「〇〇から来ました、〇〇です。 よろしくお願ひします」	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀️ できればオリエンテーションの項目をタガログ語に翻訳。</li> <li>☀️ 時刻を伝え、本人に時刻を言わせる。</li> <li>☀️ 会話表を教室等に貼る。</li> <li>☀️ 身振り手振りも使ってコミュニケーションをとる。</li> <li>☀️ 集会等で言えるように自己紹介を日本語で練習させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリエンテーション冊子</li> <li>• 現物、イラスト</li> <li>• 指差し式の会話集</li> </ul>
4日目 ～10日目	<input type="checkbox"/> 学年集会に参加する。 <input type="checkbox"/> クラスで自己紹介する。  <input type="checkbox"/> 小学校6年間の算数テストを受ける。 <input type="checkbox"/> 時間割の見方、教科の名前等を知る。  <input type="checkbox"/> 班や掃除分担、部活動等を決める。  <input type="checkbox"/> 校内探検する。 <input type="checkbox"/> ひらがな学習をする（読む、書く）。  <input type="checkbox"/> 数字・日付・曜日を学習する。 <input type="checkbox"/> あいさつを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☀️ 教職員が渡日生のいることに触れ、支援と協力を伝える。</li> <li>☀️ 自己紹介の時間の中で他の生徒と共に行う。（ローマ字で書いた紙を持たせてもよい。）</li> <li>☀️ 使用記号の確認をしておく。計算と図形の問題。今後の指導に生かす。</li> <li>☀️ 本人用の時間割を掲示する。</li> <li>☀️ 翌日の時間割をできれば母語で板書し確認する。</li> <li>☀️ 教科の名前を教えて、日本語に置き換えていく。</li> <li>☀️ 理解のある生徒と同じ班にする。</li> <li>☀️ 掃除は、生徒にやり方を教えさせる。</li> <li>☀️ 部活動について説明し、希望する部活動を見学させる。</li> <li>☀️ 各教室を見て回り、場所を知る。</li> <li>☀️ 五十音の読み書き。濁音と小文字の読み書き。白紙カードにひらがなを一文字ずつ書いてカードを作る。</li> <li>☀️ 毎朝、声を出して日付と曜日を読む。</li> <li>☀️ 母語で何と言うか教えてもらうのもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テスト問題</li> <li>• 時間割表（時刻入り）</li>   <li>• ひらがな五十音表</li> <li>• 白紙カード</li> <li>• 練習用プリント</li> <li>• 日本語テキスト</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 身近なものの名前を覚える(読む、書く)。</li> <li><input type="checkbox"/> 簡単な会話文を言う。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習に必要な基本的単語などを覚える。</li>   <li><input type="checkbox"/> カタカナの学習をする。</li>   <li><input type="checkbox"/> 内科検診や心臓検診など検診について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 写真や絵、実物を見たり、五十音が書かれた積み木を使ったりして練習する。特に間違えたものを繰り返し練習する。</li> <li>● これ、あれの区別や質問文の練習をする。</li> <li>● 整数、分数、小数、正、負、足し算、加法、和など四則計算に必要な単語、答え</li> <li>● 0～9の数字、記号の読みと書き方。</li> <li>● 漢数字を真似して書かせる。</li> <li>● 五十音表の読み書きを覚える。カタカナを使う言葉、本人が希望するものの単語などを読ませて、カタカナで書く。</li> <li>● 事前に、問診表を記入する。体操服への着替えなど配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真(絵)カード</li> <li>・五十音が書かれた積み木</li>   <li>・重要語カード</li> <li>・問題集の小学校の復習問題</li>   <li>・五十音表(カタカナ)</li>   <li>・体操服</li> <li>・問診表(翻訳)</li> </ul>
<p style="text-align: center;">11日目 ～1か月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 簡単な動詞を学習する。</li>   <li><input type="checkbox"/> カタカナの練習をする。</li> <li><input type="checkbox"/> 大きい数字を学習する。</li>   <li><input type="checkbox"/> 簡単な漢字の読み、書きを練習する。</li>   <li><input type="checkbox"/> 身近なものの日本語や漢字を学習する。</li>   <li><input type="checkbox"/> 5W1Hの日本語を、練習をする。</li>   <li><input type="checkbox"/> 教科学習の中で学習に関する日本語を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジェスチャーを交えて、簡単な動詞を教え、学習した単語をノートに書かせる。</li> <li>● ひらがなカードで動詞を作って言わせる。(「する」「好きです」「折る」など)</li> <li>● カタカナで書く単語を確認する。</li> <li>● 大きい数字を読む、聞いた数字を書かせる。漢数字を練習する。</li> <li>● 聞く、声を出して言わせる。</li> <li>● 小学校1年生の漢字の使い方や意味を繰り返し教える。漢字ノートに手本を書いて家で練習させる。</li> <li>● 漢字カードを作らせ、復習に使う。</li> <li>● 「文房具など身近なもの」や「教室にあるもの」、基礎的な「季節」「方角」「位置関係」「数詞」などを扱う。</li> <li>● 部活動で使う「着替える」「集合」「かたづける」などを教える。</li> <li>● 日本語のしりとりをして、楽しむ。</li> <li>● 「これは何ですか」「これは～です」「いつ～しますか」「〇時に～します」「これは誰ですか」「〇〇先生です」等、実物や時計を使ったり、教室の外に出て1つずつ繰り返し練習させる。</li> <li>● 数学の正の数、負の数、角度、図形名、面積、体積等を学ぶ。</li> <li>● 「高い・低い」「西に、東に」などの反対語を知る。</li> <li>● 体育で整列の練習をさせる(号令で動くことを知る)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の絵本等</li> <li>・ノート</li>   <li>・前に作ったひらがなカード</li>   <li>・漢字カード</li> <li>・電子辞書</li> <li>・写真(絵)カード</li> <li>・日本語テキスト</li> <li>・フィリピン語教材</li>   <li>・小学校の問題プリント</li> <li>・電子辞書</li> </ul>



## 第4章 楽しい教室づくりのためのアイデア集



### 「日本の学校って楽しいな!!」

子どもがこのように感じて、毎日を生き生きと過ごせること。  
それが日本語・教科学習に取り組むための前提です。  
ここでは、教室で簡単にできる支援例・ヒントを紹介します。



### ともだちポスターづくり



生まれ育った国や個人のプロフィール等をポスターにします。ポスターを協力して作る中で、また、掲示したポスターをもとにしてコミュニケーションをとる中で、互いの理解が深まります。

#### 【準備物】

- ・ポスター用紙（色画用紙など 新聞紙大～A3程度の適度な大きさ）
- ・はさみ・のり
- ・写真（子どもが持っているオリジナルなもの楽しい）
- ・カラーペン（コメントを書く）

#### 【作成例】

国やプロフィールに関する写真などを集め、それをポスター用紙に貼って、周囲にみんなでコメントを書き入れます。コメントは母語と日本語を並べて書きます。それぞれにルビを振りましょう。



### すごろく遊び



すごろくを使うことで、遊びながら、数字、ひらがな、カタカナが身につきます。

#### 【準備物】

- ・すごろく（市販のもの。教科書によっては巻末に付いているものもあります）
- ・サイコロ
- ・コマ（いろいろな色のもの）

#### 【遊び方】

- ・サイコロをころがして、「イチ、ニ、サン、シ」と数を数え、コマを進めます。入った枠に書かれた指示を読み、コマを動かします。

#### 【活用例】

- ・班などで、「動物の鳴きまねをする」「母語で1から10まで数える」などの指示を入れた、オリジナルのすごろくを作成すると、より楽しく交流することができます。





## 💡 コイン投げ遊び

コイントスをして、当てっこをしながら、「好き、きれい」「勝ち、負け」のようなペアの言葉、「赤、白」「パン、牛乳」のような日常用語を覚えることができます。

### 【準備物】

- ・コイン、プラスチックのチップ等
- ・コインに貼るシール（1～2センチ角の大きさに切っておきます）
- ・ホワイトボード（得点板にして遊びます）
- ・ホワイトボード・マーカー
- ・ボード消し（拭き布）



### 【作成例】

覚えたい言葉（2種類）をシールに書き、コインの表と裏に貼ります。

### 【遊び方】

- ・言葉の意味を絵やジェスチャーで説明し、言葉を覚えます（支援者に続いて子どもが発音するなど）。
- ・コイントスをし、表・裏に書いてある言葉のどちらかを言い当てます。例えば「パン」と「牛乳」が表・裏の場合は、「パン」と言って、「パン」が上なら当たり、「牛乳」が上ならはずれです。当たりなら1点とします。
- ・ホワイトボードに得点表を書き、点数を入れます（「正」の字で書くと、数え方の練習にもなります）。
- ・シールを書く、コイントスをする、得点表を書く、点を入れるなど、できることは子どもにまかせます。

### 【活用例】

- ・文字だけでなく、イラストを描いても楽しめます。

## 💡 動物カード遊び

動物の絵カード・写真カードを使って、遊びながら動物の名前を覚え、その特徴がわかるようになります。いろいろゲームを工夫して遊ぶことができます。

### 【準備物】

動物の絵カード・写真カード（学校教材、市販のカードを利用）

### 【遊び方】

- ・絵カードを見て動物の名前を言います。言えたらそのカードがもらえます。1枚1点として、何点とれるかに挑戦します。
- ・絵カードの裏に動物の名前を書いておきます。表の絵を見て名前が書けたらカードがもらえます。1枚1点として、何点とれるかに挑戦します。

### 【活用例】

- ・動物の名前をだいたい覚えたら、動物の特徴を聞いて名前を当てるゲームができます。絵カードを机に表向きに並べます。問題の特徴にあてはまるカードをとりまします。
- ・動物の特徴を言う言葉（大きい、小さい、強い、弱い、速い、遅い、白い、黒い）、身体語（頭、目、耳、鼻、口、体、手、足、首、しっぽ）を使って、問題を出します。



## 第5章 日本語教材ホームページ集

- 1
日本語教育教材「こんにちは」（大阪府教育センター）
👁️ 日本語教材

[http://www.osaka-c.ed.jp/kak/kyoka/konnichiha/konnichiha\\_001.htm](http://www.osaka-c.ed.jp/kak/kyoka/konnichiha/konnichiha_001.htm)
- 2
日本語教材「新版みえこさんのにほんご」（財団法人三重県国際交流財団）
👁️ 日本語教材

<http://www.pref.mie.jp/gakokyo/hp/miekosan/>

テキストに対応する教材「れんしゅうちょう1」と「れんしゅうちょう2」、指導資料の「指導のアクセス」と絵カード(100枚)がついています。
- 3
外国人児童・生徒用日本語テキスト「たのしいがっこう」（東京都教育委員会）
👁️ 日本語教材

[http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/tanoshi\\_gakko.htm](http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/tanoshi_gakko.htm) (22言語による対訳付き)
- 4
彩と武蔵の学習帳(改訂版)日本語補助教材（英、中国、スペイン、ポルトガル）(埼玉県教育委員会)
📖 対訳教材

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ayatomusashinogakushuuchou.html>

日常会話編・学校用語編・国語編・社会編・算数・数学編・理科編 があります。

👁️ 日本語教材
- 5
ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語の児童のための算数・漢字教材（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター）
📖 対訳教材
📖 漢字教材

[http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social\\_02.html](http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social_02.html)

やさしい日本語や母語での説明、イラストを豊富に活用した教材です。
- 6
小学生の漢字熟語集・算数の用語カード・理科・生活科・社会科の用語カード（兵庫県国際交流協会）
📖 対訳教材

[http://www.hyogo-ip.or.jp/info/support/modtreepage01\\_7181/modtreepage01\\_7144/kyouzai/](http://www.hyogo-ip.or.jp/info/support/modtreepage01_7181/modtreepage01_7144/kyouzai/)

イラスト付(日、英、スペイン、ポルトガル、中国、フィリピン、ベトナム、韓国・朝鮮)の8言語で作成

📖 漢字教材
- 7
漢字教材（兵庫県子ども多文化共生センター）
📖 漢字教材

<http://www.hyogo-c.ed.jp/mc-center/nihongoshidou/kanjikyozai/kanjikyozai.html>

ラミネートをすると小学校教育漢字の下敷きが作れます。小学校教育漢字1006字のオリジナル漢字プリント150枚があります。
- 8
日本語指導用教材（岩倉市日本語適応指導教室）
👁️ 日本語教材

<http://www.iwakura.ed.jp/nihongo/L2.htm>

日本語指導の提示・掲示用に適しています。イラスト付です。
- 9
日本語教材(ひらがな、カタカナ、漢字)算数教材（津市教員）
👁️ 日本語教材
📖 漢字教材

<http://www5d.biglobe.ne.jp/jikanwar/nihongokyoza/nihongokyoza2.html>

ひらがな教材には、ポルトガル、スペイン、タガログ、ビサヤ、イロン、ベトナム、タイ、インドネシア、中国、モンゴル、英の対訳があります。


📖 教科教材
- 10
日本語のレベルが初期～初級の児童生徒向け教材「ともだちになろう！」（静岡市教育委員会）
👁️ 日本語教材


<http://www.gakkyo.shizuoka.ednet.jp/page10.htm>

日本の学校生活にそった日本語指導教材
- 11
算数6カ国語対訳集（川崎市総合教育センター）
📖 対訳教材

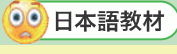
<http://www.keins.city.kawasaki.jp/content/taiyaku/taiyaku.htm>

日、英、中国、韓国・朝鮮、スペイン、フィリピン、ポルトガルの対訳集


- 12 子どものための日本語支援教材リスト（市販されている教材リスト）（千葉県教育委員会）  
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/g-ukeire/gakkou-sensei/kyouzailist.html> 

- 13 デジタル絵本サイト(12言語対訳あり)（国際デジタル絵本学会）   
<http://www.e-hon.jp/>


世界各国の民話を基本にして、各国語に翻訳してあります。

- 14 マルチメディアにほんごをまなぼう（日本語指導教材研究会）   
<http://www.hellonavi.com/foldera/index.html>

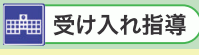
(日、英、中国、韓国・朝鮮、ポルトガル、スペイン、ベトナム、カンボジア) 8言語の対訳付

- 15 国語教科書翻訳教材（埼玉県教育委員会）   
<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/yonkakokugo-kokugo.htm>

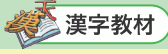

小学校5年、6年の国語教科書、(光村図書、教育出版)英、中、スペイン、ポルトガル語で対訳

- 16 もっとたのしいひろこさんのたのしいにほんご   
<http://members3.jcom.home.ne.jp/hirokosannhg/ohanashi-top/ohanashi.htm>


「ひろこさんのたのしいにほんご」の続編で、たのしいお話がたくさんあります。小学校での日本語指導に使える教材です。

- 17 『外国からの子どもたちと共に』（千葉県教育委員会）   
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/g-ukeire/gakkou-sensei/ukeire.html>


学校の受け入れ対応と日本語指導が書かれています。


- 18 指導参考資料（豊橋市教育委員会）    
<http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/shidou/shidou.htm>

チェックリスト／漢字・算数テスト／通知表翻訳を掲載

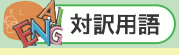

- 19 スペイン語やポルトガル語を母語とする児童生徒のために対訳つきの教科教材（TS日本語教室）   
<http://www.hakuoh.ac.jp/nihongo/>

社会、理科を中心に対訳教材や子どものための対訳辞書などがあります。

- 20 中学社会科用文部科学省検定済教科書（英語、中国語、韓国・朝鮮語）（株 ジャパン・エコー）   
[http://www.je-kaleidoscope.jp/index\\_ja.html](http://www.je-kaleidoscope.jp/index_ja.html)

- 21 多言語学校プロジェクト   
<http://www.tagengo-gakko.jp/>

全国で作られた多言語の学校文書が検索できます。多言語で月間行事予定表も作成できます。

- 22 JSL カリキュラム 中学校編（文部科学省）    
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/003/001/011.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/011.htm)



教育委員会市町村教育室児童生徒支援課 平成23年3月発行  
〒540-8571 大阪市中央区大手前2丁目 / Tel.06 (6941) 0351 (代表)



大阪府教育委員会では、学校が家庭・地域と連携して、朝の生活習慣づくりを通して  
学習活動への意欲や姿勢をはぐくむ運動をすすめています。

“愛”言葉は「ほめる、笑う、叱る」

